

秋田市立中通小学校「林業体験学習」

実施協力団体：公益社団法人 秋田県緑化推進委員会、秋田県森の案内人協議会

9月25日に、秋田市立中通小学校5年生34名を対象とした「林業体験学習」を実施しました。この取組は、平成6年度より継続して行っており、33回目となる令和8年度は、秋田森林管理署管内の国有林で除伐作業を体験しました。その後は、近くの「伏伸の滝（ふのしのたき）」周辺を散策しながら、そこで見られる植物の特徴などを学びました。

除伐体験



大型バスに乗り、途中準備体操を挟みつつ到着したのは、植栽から8年目のスギ造林地です。はじめに森林管理署職員から除伐の必要性や鎌の使い方等を教わり、作業開始！

蜂の危険期のため、もちろん防蜂網をきっちり装着しています。

長い鎌を持つのはほとんどの子が初めてのため最初こそ腰が引けていましたが、すぐに慣れ、後半はしっかりとした鎌さばきを見せてくれました。スギの木に絡むつるも丁寧に外し、造林地はすっきりきれいに整備されました。最後にはポーズを決めて記念の集合写真をパチリ。

今回のような林業体験が、子ども達が普段あまり触れることのない森林の大切さや、手入れが大事なことを感じるきっかけになってくれることを願います。



鎌を振るのは大変

苦労して外したつる



カマキリ発見



森林散策



伏伸の滝園地で昼食を取った後は、秋田県森の案内人協議会の皆さまを講師としての森林散策です。伏伸の滝周辺の散策路を歩きながら、植物の特徴や生態などの説明を聞く子ども達。実際に葉や実、花などに触れながら、森林の豊かさを学んでくれました。

後半には水と触れ合う時間も設け、夏場でも冷たい水や岩見川の透明度の高さに驚きつつ、笹舟を流したり石を投げて水切りしてみたりと、好奇心いっぱい各々水辺の時間を心ゆくまで楽しんでいました。当日は折しも中秋の名月だったため、好みの実や花のほか、ススキを持って帰る子も多かったです。

教室とは違う自然の中での活動を通して、子ども達の新たな発見の場に立ち会えたことを嬉しく思います(*^ ^*)



植物の説明に耳を傾ける子ども達

清流沿いを散策

冷たさに驚き



真剣に虫探し

